

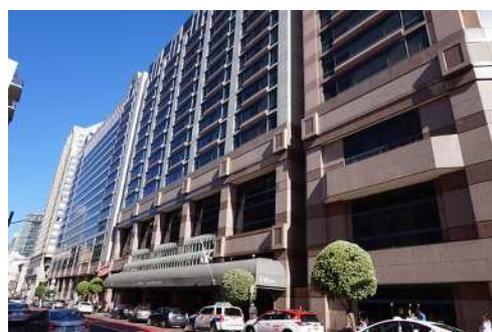
第 86 回 IEC サンフランシスコ大会参加報告

令和 4 年度 IEC 活動推進会議 運営委員長
上田 健二郎(ソニーグループ株式会社)

第 86 回 IEC 大会が、2022 年 10 月 31 日～11 月 4 日に米国のサンフランシスコにて開催されました。

2019 年の上海大会以来、3 年ぶりの対面開催となり、参加者登録数は 2,218 名（陪席登録 202 名除く）を数えました。

会場は Hilton San Francisco Union Square 及び隣接する Hilton 傘下の Parc55 の 2 か所で、大会期間中には総会(GA : General Assembly)をはじめ、評議会(IB : IEC Board)、標準管理評議会(SMB : Standardization Management Board)、適合性評価評議会(CAB : Conformity Assessment Board)、市場戦略評議会(MSB: Market Strategy Board)などの IEC 上層の各委員会と、NC (National Committee) Presidents' Forum、IEC Forum、Asia Pacific Cooperation Forum(APCF)などの各種の会議や、専門委員会 (TC : Technical Committee)、分科委員会(SC : Subcommittee)などが併催され、コロナ禍以前に劣らない盛況ぶりとなりました（表 2 参照）。



会場の Hilton Union Square San Francisco

[主要会議日程]

	会議・イベント名	時間
10/31(月)	SMB	0830-1730
	CAB	0830-1730
	Open Ceremony & Welcome reception	1830-2100
11/1(火)	IEC Forum	0900-1300
	APCF / Asia Pacific Reception	1400 - 1800
11/2(水)	IB	0830 - 1700
11/3(木)	MSB	0830 - 1230
	IEC Academy & Capacity Building workshop	0900 - 1230
	MSB Seminar	1400 - 1700
11/4(金)	General Assembly	0830 - 1300
	Open Session, Farewell Party	

表 1 日程

[開催規模]

	開催場所	参加登録者数	うち、日本	備考
2014	東京	2367	731	
2015	ミンスク	1289	110	
2016	フランクフルト	3227	410	
2017	ウラジオストク	1381	194	
2018	釜山	3375	471	
2019	上海	3614	494	
2020	ジュネーブ(リモート)	790	34	リモート開催
2021	ドバイ(ハイブリッド)	890	37	ハイブリッド開催
2022	サンフランシスコ	2218	306	

表 2. 近年の IEC 大会参加登録者数

国別参加登録者数(上位 10 カ国)

1. 米国	317 名	6. 英国	85 名
2. 日本	306 名	6. フランス	72 名
2. ドイツ	197 名	6. カナダ	59 名
4. 韓国	184 名	9. インド	45 名
5. 中国	125 名	10. イタリア	43 名

表 3. 今大会の国別登録者数(上位)

本稿では IEC の最高意思決定機関である総会 (General Assembly) <2022 年 11 月 4 日 (金) 8:30~13:00>の概要を報告いたします。

1. IEC 次期役員及び上層委員会委員 (選挙結果等)

次期財務監事として、フランスの Mr. Pierre SELVA 氏のみ立候補し、信任されました。また、次期 SMB 議長兼 IEC 副会長にインドとイランから立候補があり、現 SMB オルタネート (委員代理) である Vimal Mahendru 氏 (インド) が選出されました。加えて、IB、SMB および CAB について、自動選出国 (財政グループ A) メンバーの承認、および選挙による選出が実施されました。日本からは、IB 委員として西田委員が再任され、SMB 委員として岡本氏 (日立) が承認されました。(表 4 参照)。



会場の Hilton Union Square San Francisco

表 4 総会での選挙結果

ポスト	氏名（国）	任期
IEC 財務幹事	Mr. Pierre SELVA（仏）	2023年～2025年
IEC 副会長	Mr. Vimal Mahendru（インド）	2023年～2025年
IB 委員	Mr. Kevin LIPPERT（米）	2023年～2025年
SMB 委員	Mr. Pascal TERRIEN(仏)	2023年～2025年
SMB 委員	Ms. Clare HOBERN（オーストラリア）	2023年～2025年
CAB 委員	Ms Marie-Elisabeth D' ORNANO（仏）	2023年～2025年
CAB 委員	Mr. Leonardo MACHADO ROCHA（ブラジル）	2023年～2025年

2. 財務関連

2021年度監査済み IEC 法廷財務諸表、2023年度予算案・各国分担金等について承認されました。

- ・ IEC 単独総収入は 25.8 百万スイスフラン（約 33.5 億円）で予算に対し+3.6%。総支出は 23.4 百万スイスフラン（約 30.4 億円）で、前年比+2.2%。収支としては 2.4 百万スイスフラン（約 3.1 億円）の黒字で、前年比+20.0%となりました。
- ・（2022年1月の IEC 組織改革により、IEC 単独ではなく統合予算案として提示）IEC 統合の総収入は 30.1 百万スイスフラン（約 39.1 億円）で、前年比+3.3%、総支出は 33.5 百万スイスフラン（約 43.6 億円）で、前年比+5.0%、収支としては-3.4 百万スイスフラン（約 4.4 億円）の赤字となりました。
- ・ 2023年の各国分担金および正会員の分担割合の基準値について承認されました。日本の分担金については前年と同額です。

3. 今後の IEC 大会開催予定国（都市）

2023年の IEC 大会がシャルム・エル・シェイク(エジプト)にて 2023年10月22日から26日に開催されることが再確認され、プロモーションビデオ上映、同大会への招待のご挨拶がありました。

また、今後の開催予定国・都市について、確認、承認、招待意向受理が行われました(表5参照)。

表 5 2023年以降の IEC 大会開催予定

開催年	国（都市）[開催期間]	状況
2023年	エジプト（シャルム・エル・シェイク）[2023/10/22～26]	再確認
2024年	英国（エジンバラ）	確認
2025年	イスラエル（開催地未定）	招待意向受理
2026年	ドイツ（開催地未定）	招待意向受理

■ 所感

IEC 大会は3年ぶりに対面開催となり、日本から多くの関係者が対面で参加することができました。運営委員長として、自身にとって初めてとなる IEC 大会参加でしたが、IEC そのものの規模の大きさは当然の事ながら、今何が世界的な重点課題なのか、について肌で感じることができる貴重な経験となりました。

た。今後、これらの課題に取り組むにあたり、まずは IEC-APC という場で日本国内の IEC 活動を盛り上げていくことが非常に重要であると感じました。

財務報告に示されているように、IEC の事業はコロナ禍にあっても柔軟かつ堅調に運営されていますが、現地で直接関係者とコミュニケーションをとれたことにより、一度に多くの情報に触れることができ、対面コミュニケーションの大切さを実感しました。

また、国内でもしばしば議論される若手エキスパートや IEC 幹部候補となる人材の育成等について、IEC 大会期間中に様々な場で議論されており、各国の産業先進度によらずに世界共通の課題であることを実感し、IEC-APC での取り組みの参考としたいと思います。

今後とも引き続きご指導いただけますよう、よろしくお願いいたします。

以上



IEC サンフランシスコ大会のHP より
IEC 大会のあったサンフランシスコの象徴であるゴールデンゲートブリッジ